

2008年 1月

Vol.22

# 美 緑



スマイリーガーデンに取り付けました。

## <彩のイルミネーション.>

冬の寒空を演出する8種類の光のショーを一度ご覧下さい。自分で言うのもなんですが、暖かい気持ちになり無心になって見入ってしまいました。

2008年もよろしくお願いたします。

スマイリーガーデン 株シムラ スタッフ一同

〒939-2251 富山県富山市下大久保 3213-1

☎ 076-467-2244 Fax 076-467-1534

076-455-2244 (夜間)

<http://www.k-simura.co.jp> e-meil:info@k-simura.co.jp

## 流行のきざし？松の葉が赤い？



最近大切な松の葉が、部分的に赤く枯れたようになる症状が少なからず見られます。地球温暖化や酸性雨の影響なのか「よくわからない状態」が本音です。

しかし考えられる原因を探って対策を考えてみました。

～症状～



・全体に赤い松



・葉先が赤い  
(葉枯れ病)



・新芽は青いが・・・  
(葉ふるい病)

～原因～

直接の原因として、顕微鏡でしか見えない糸状菌(一般的には“かび”と呼ばれているもの)の胞子が風で運ばれて植物の葉に付着します。そして、葉の気孔から進入して内部で栄養を取りながら成長して病気をおこすと考えられます。

夏頃から秋にかけて枯れる病状が見られましたが、実は春にすでに付着していて、潜伏していたと考えられます。3～5本ある松の中で1本しか病状が表れないという現状があります。

実は、すべての松に菌は付いていて樹勢が弱っている松にのみ症状が出たと考えられます。「体力が弱っている時に風邪をひきやすい!!」と同じことですね。

～対策～

1.殺菌剤の散布を行いましょう。

- ・10 視以下の気候(1～2月)の時に、石灰硫黄合剤を樹木と地面に散布しまししょう。
- ・春先に殺菌剤(ダ化)などを樹木と地面に散布しまししょう。  
地面に散布するのは胞子の飛散を防ぐためです。

2.土壌改良・施肥をしまししょう。

- ・庭を大きな植木鉢と考えると根を活性化する必要があります。肥料を芽吹く前(2～3月)に与えましよう。
- ・肥料だけではこれまでと同じです。根に活力剤と酸素を与えてやりましよう。  
(詳しくは当社にお尋ね下さい)

3.胞子の飛散を防ぎましよう。

落ちた赤葉や古葉は集めて処分すると良いです。

<発見したら>

まずは防除(殺菌剤散布)次に樹勢回復です。

<病にならないために>

私たちもお邪魔したときにじっくり観察しますが、日頃から葉の色を見て頂くと木々も喜ぶと思います。



# お庭紹介

## F邸

ご主人のご希望で四つ葉のクローバーをかたどったデザインの駐車場になりました。

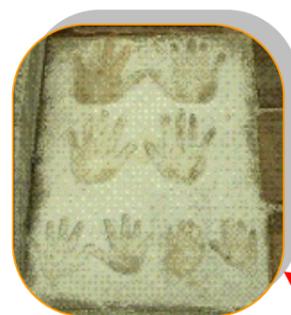
元々植えてあったケヤキを活かし何年も前から使っているような雰囲気になりました。夜のライトアップも素敵です。



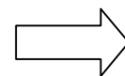
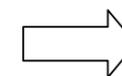
## D邸

「草むしりが大変で・・・」  
「なるべく草取りが少なくすむ庭に」とのご要望でした。

草の生えない土舗装ばかりでは芸がないので前から使っておられた切り株仕様の飛石を花のように使ってみました。とてもかわいく仕上がりました。



手形の思い出

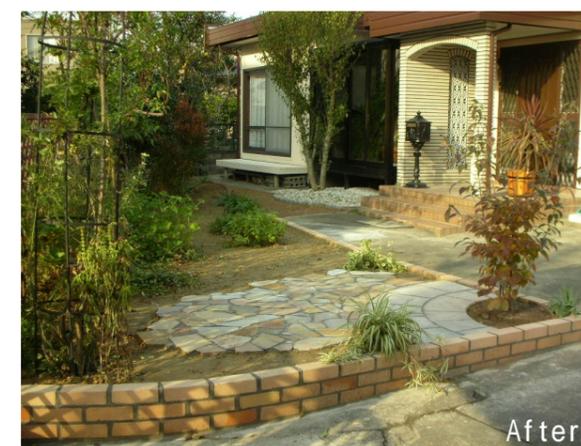


## 料理 高島様

駐車場からの通路となっていて、お客様がつかずかれないように気を遣いました。

裏口の狭いイメージから明るく広々とした雰囲気になりました。おわらの歌碑も引き立っています。

おいしいお料理とお庭で、楽しいひと時をお過ごし下さい。



## T邸

家族の憩いの場として活躍するプライベートガーデン。

空の下でお茶・バーベキュー・読書・お昼寝・・・  
お日様の光とあたたかさを感じ、会話に花を咲かせて頂ければ嬉しいです。